

(様式第4号)

上田市交通安全対策協議会 会議概要

1 審議会名	上田市交通安全対策協議会
2 日時	令和3年7月9日 午前10時00分から午前11時00分まで
3 会場	市役所本庁舎 5階 大会議室
4 出席者	木曾俊雄会長、高野学副会長、宮原剛士委員、土屋広幸委員、小林伸委員 中島健彦委員、水出秀子委員、大島孝之委員、倉田雅史委員(代理)、山岸秋夫委員、 小林靖典委員(代理)、柳沢裕美委員、堀内寛子委員、飯島良明委員、北沢武委員、 滝澤共子委員
5 市側出席者	北島生活環境部長、山岸生活環境課長、渡澤課長補佐兼生活安全担当係長 堀込生活環境課職員、田中土木課整備計画係長、山田交通政策課交通政策担当係長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 2人
8 会議概要作成年月日	令和3年7月12日

協 議 事 項 等

1 開 会
2 あいさつ(北島生活環境部長)
3 会長あいさつ
4 副会長あいさつ
5 自己紹介(委員、事務局)
6 諮問(北島部長が諮問文を読み上げ会長に交付)
7 協議事項
(1) 第1次上田市交通安全計画について
・資料に沿い、渡澤課長補佐から、交通安全対策協議会の設立経緯と、第1次上田市交通安全計画の概要、計画案の内容を説明
・以降、協議
(委 員) 第1次上田市交通安全計画に示す目標数値について、事務局案では、死者数、重傷者数を設定しているが、負傷者数まで掘り下げているのか。
また、具体的な目標数値を考えているのか。
(事務局) たたき台として、県計画と同様の目標項目である「死者数、重傷者数」としている。
長野県人口(2,023,439人、令和3年6月現在)を、上田市人口(155,019人、令和3年6月現在)で割ると、上田市人口は、県人口の約7パーセントとなる。
県計画の重傷者数の抑止目標については、県計画が500人以下となっていることから、人口割で考えると、上田市の目標数値は約38人ということになるが、この数値については、今後、警察・関係機関と調整が必要と考えている。
また、死者数の抑止目標は、県の死亡事故抑止目標は45人となっており、これを先程と同様、人口割すると、上田市は約3人となる。
昨年、上田市は死者数を1人に抑えているところ、令和7年度の目標を3人とすることは適当でないと考え、死者数の目標は1としている。
究極的にはゼロという意見もあろうかと思うが、実現可能な数値として1人としている。
(委 員) この計画は、市民に公表するのか。
計画案を見ると、世の中で定着していないカタカナ言葉、例えばモビリティやデバイスなどといった言葉が使用されており、万人が理解できる計画を策定する必要があると思われる。
(事務局) 市民に公表する計画であるので、ページの下に注釈等をつけるなど、万人に分かりやすい計画の策定を目指し、作り上げてまいりたい。

(委員) 計画案3ページ、「上田市における交通事故死者数・負傷者数の推移」に用いているグラフは、合併前の町村を除いた数値となっているが、現実離れした数値となってしまうので、合併前の町村を含めたグラフにすべきである。

(事務局) そのように対応したい。

8 閉 会